

著者インタビュー、献本、プレゼント提供等のご依頼は
マイナビ広報担当者までご連絡ください。

2014年6月18日
株式会社マイナビ

「結局、ビッグデータってなに？」と思っている人に向けた入門書
ビッグデータが注目される、その理由をやさしく解説します
マイナビ新書『進撃のビッグデータ』6月21日(土)発売

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区)は、マイナビ新書『進撃のビッグデータ』を6月21日(土)に発売します。

ここ数年、「ビッグデータ」という言葉がビジネスの世界を賑わせています。ビッグデータとは、その名の通り“巨大なデータ”で、最大の特徴はそれらを分析することで「思いもよらない関係性を浮かびあがらせる」ことと、「未来予測ができる」ことのふたつです。すでに様々な企業がビッグデータ分析の手法を取り入れ、サービスに生かしています。IT・システム業界だけでなく、企業経営者やマーケティング担当者から非常に高い注目を集めています。

本書は、「ビッグデータという言葉はよく聞くけれど、結局なんだかよくわからない」という人が主な読者対象です。ビッグデータの関連本は多数発売されていますが、本書はITや統計学、データ分析にあまりなじみがない人に向けて、なぜ今ビッグデータが注目を集めているのかをITジャーナリストの牧野武文氏がわかりやすく解説しています。

～なぜ、今ビッグデータなのか？ 本書を読めば、こんなことがわかります～

ビッグデータを活用できない企業に未来はない！その理由

回転寿司はなぜ350メートル進んだら廃棄するのがよいのか？某寿司チェーン店が導き出したその手法
企業は今後、データ分析の専門家「データサイエンティスト」の社内育成が必要になる、その理由

著者コメント(本書まえがきより)

「本書は(ビッグデータの)もやもやははっきりとさせ、ビッグデータの基本を抑えることを念頭に執筆しました。本書をお読みいただいて、まずあなたの頭の中でビッグデータのカタチをはっきりとさせることができれば、スムーズにビッグデータ活用の道が見えてくると思います」



《著者プロフィール》牧野武文(まきの・たけふみ)

ITジャーナリスト。ITビジネスやテクノロジーについて、消費者や生活者の視点からやさしく解説することに定評がある。著書に『インターネット社会の幻想』(アルク新書)、『グラフはこう読む！悪魔の技法』(三修社)、『ゲームの父・横井軍平伝』(角川書店)、『Googleの正体』(マイナビ新書)など多数。

書名	『進撃のビッグデータ』(マイナビ新書)
著者	牧野武文
価格	918円(税込)
ISBN	978-4-8399-4961-7
判型	新書判 224ページ
発売日	2014年6月21日(土)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ 社長室 広報部 渡邊

TEL.03-6267-4155 FAX.03-6267-4050

e-mail: koho@mynavi.jp